

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



「コサギの冬」 撮影：かまち歯科医院 蒲池 正哉 先生

INDEX

- ごあいさつ 院長 木寺 義郎 ①
- 第1回 救急隊との事例研修会の報告
- 新採用医師の紹介 ②
- 認定看護師活動の紹介
- 外来受付時間の変更について
- 診療活動の現況 ③
 - 血管外科 —
- 航海練習船こじま世界周航のご報告 ⑤
- 地域医療連携室より ⑥
- 年末年始の管理当直体制
- 編集後記
- 外来診療担当表 ⑦

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



前号でも病診連携について触れましたが、特に地方では病院と診療所の機能分担による医療資源の有効活用が不可避のものになっています。地域の基幹病院の役割は高度の医療の提供や救急医療への対応にあります。このような医療機関の診療機能の特徴を表すものに臨床指標があります。

全国の33カ所の国家公務員共済組合連合会病院では臨床指標を開示することになりましたが、全病院に共通の項目と各病院独自のものがあります。共通の項目として揚げられるものに紹介率、逆紹介率があります。当院のこの数年間の推移を調べてみますと、どちらの数値も急激な上昇が見られます。具体的なデータで示しますと地域医療支援病院になった平成23年度には紹介率60%、逆紹介率40%程度でしたが、今年9月の実績ではそれぞれ82%、75%になっています。

救急患者の受入状況も臨床指標として採り上げられることの多い指標です。当院での救急車の月平均搬入数を見ると平成23年度には70件であったものが、平成26年度は117件でした。救急患者に多い疾病には消化器、循環器、呼吸器、脳血管系に関連したものや転倒による骨折があり、迅速な対応と高度な医療の介入が求められます。紹介および救急患者が増加する傾向はますます顕著になりますので、当院のような中核病院では限られた医療資源をこれらの重症の方々に集中できるように、軽症の患者さんの多い外来業務は軽減化するなどの対策が必要になってきました。

臨床指標は診療機能を明らかにするだけでなく、全国の医療機関と比較することで自院の課題を発見することにも役立ちますので、臨床指標をベンチマークとして積極的に活用していきたいと思えます。

第1回 救急隊との事例研修会の報告 診療部長 井原 司



平成27年10月9日 当院8階大講堂において第1回佐世保市救急隊との事例研修会を開催しました。佐世保市消防局、救急隊からは19名、当院からは35名の参加者がありました。

この会の目的は、救急現場から病院搬入までの病院前救急医療の充実と、救急隊員と当院スタッフとの親睦を目的に開催されました。

最初に救急隊からの事例提示の後、担当医師より、搬入後の臨床経過、確定診断、治療内容の説明がありました。1例目は急性腹症の診断で搬入されたが、子宮外妊娠で急激に出血性ショックとなり緊急手術となった症例、2例目は交通外傷（頭部外傷あり）で搬入され、CTで外傷性くも膜下出血と診断され総合病院へ転送となった2症例で検討を行いました。

お互いの立場より、活発な意見交換が行われ、有意義な会となりました。今後も事例研修会を定期的に行い、救急隊との更なる連携を深め、地域救急医療への貢献、当院の救急体制の充実を図っていききたいと思います。

新採用医師の紹介

外科 高木 克明



出身大学 久留米大学
卒業年度 平成17年
在籍医局 久留米大学 外科
専門領域 消化器外科
出身地 熊本

趣味・その他一言 佐世保は初めてですが、早く慣れて地域に貢献できるように頑張ります。よろしくをお願いします。

放射線科 椿 史裕



出身大学 久留米大学
卒業年度 平成20年
在籍医局 久留米大学 放射線科
専門領域 放射線診断
出身地 佐世保

趣味・その他一言 高校卒業以来、16年振りに地元に戻ってくるようになりました。よろしくをお願いします。

認定看護師活動の紹介

認定看護管理者 久田 和子

認定看護管理者制度は発足から20年が経過し、全国で2,664名の方が認定看護管理者として活躍され、県北では4名の認定看護管理者がいます。2014年の認定看護管理者の活動実態報告では「人材育成計画の整備・推進」「ワーク・ライフ・バランスの推進」「夜勤・交代制勤務に関する改善の取り組み」の3つが成果をあげた、あるいは取り組みの内容が多かったものとして紹介されました。自分自身の取り組みとしても、「ワーク・ライフ・バランスの推進」の一環として子育て中の方や、介護をされている方が休みを取れる環境を作るために、外来ローテーションを開始しました。この取り組みは、日総研出版社から出ている「外来看護」の2015年秋号に掲載させていただいています。また、本年度の看護研究において師長、主任を対象としたアンケート調査を行い、中間管理者の人材育成の介入の方向性について報告を致しました。今回の結果は「中間管理者の人材育成計画の整備・推進」として、管理者のクリニカルリーダーの開発など継続して取り組んでいきたいと考えています。また、地域への貢献としては長崎県看護協会の役員を担い看護教育、町の保健室活動の活性化等を行ってきました。院内で認定看護管理者としての活動が可視化できない現状であり、認知度も貢献度もまだまだの状況です。今後は院内で横断的な活動ができる体制づくりにも努力していきたいと考えています。



久田師長（中央）と外来主任

外来受付時間の変更について

事務部長 栗林 昌弘

当院では患者さんの外来の受付時間を午前8時から11時半までとじていましたが、平成28年1月より午前8時から11時までとすることになりました。

受付終了時間については、診療科の手術時間等の関係で早めることがありましたので、ホームページ等を見て来られた患者さんから11時半までとなっているが11時までに行っても診療受付をしてもらえなかった等のご指摘があり、改善することといたしました。

なお、診療開始時間については従来通り午前8時30分から変更ありませんので、地元医師会の先生からのご紹介等の受付については今迄どおり、直接連携室にお電話で相談いただければ幸いです。

【はじめに】



外科医長
三笠 圭太

本邦における下肢静脈瘤の患者数は推定1000万人以上とされ、日常的に非常によく遭遇する疾患です。今回、下肢静脈瘤に対する新しい治療法である高周波治療機器による血管内焼灼術についてご紹介したいと思います。

【下肢静脈瘤発生のメカニズム】



血液が心臓に戻ることを静脈還流といいます。静脈還流には静脈の内側にある逆流防止弁が大切です。血液が重力によって逆流するのを弁がくい止めています。



この静脈弁の中で、壊れやすい箇所は、高い逆流圧のかかりやすい表在静脈が深部静脈に合流するところ、すなわち脚の付け根や膝の裏などで、弁が壊れて正常に働かなくなると、血液の逆流が始まり、その結果、静脈内圧が上がって静脈が拡張し静脈瘤が作られます。

【下肢静脈瘤の特徴】

- 性別：女性に多い
- 年齢：加齢と共に静脈瘤発生の頻度は増加する
- 遺伝：親族が静脈瘤をもつ場合、発生頻度が高い
- 妊娠出産：これをきっかけに下肢静脈瘤が発生しやすい
- 立ち仕事：教師、美容師、調理師、看護師、スチュワーデスなど

【下肢静脈瘤の頻度】

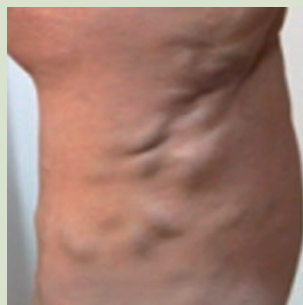
40歳以上の女性の11%に明らかな静脈瘤が認

められるとされています。程度の軽いものを含めると、15歳以上の男女の43%、30歳以上では62%もの人に静脈瘤が認められた報告もあります。

【下肢静脈瘤の症状】

- 外見上の問題
- だるい、重い、疲れる、ほてる
- 血管痛
- 足がつる（こむら返り）
- むくみ（浮腫）
- かゆみ
- 皮膚炎、湿疹
- 色素沈着、潰瘍

下肢静脈瘤は、以下の4つに分類されます。



伏在静脈瘤



側枝静脈瘤



網目状静脈瘤



クモの巣状静脈瘤

手術適応となる静脈瘤は伏在静脈瘤です。

【下肢静脈瘤の治療について】

1. 保存的治療（弾性ストッキング）
2. 硬化療法
3. 高位結紮術（硬化療法併用）
4. ストリッピング術
5. 血管内焼灼術（高周波、レーザー波）

【当院が導入した高周波（ラジオ波）治療】



2014年6月から下肢静脈瘤に対するラジオ波による血管内治療が保険適応となり、当院では2015年3月より高周波治療機器による血管内焼灼術を導入し、治療を開始いたしました。

ラジオ波は別名「高周波」ともよばれ、レーザーのかわりに高周波電流により120℃に熱した金属カテーテルで血管壁を焼灼閉塞する治療法です。

波長980nmのレーザーに比べて、術後の痛みや出血が少ないのが利点で、米国では下肢静脈瘤治療を受ける患者さんの約半数がラジオ波治療を受けており、安全性や治療効果は十分に実証されています。

【ラジオ波（高周波）治療の特徴】

周囲組織のダメージが少ない

ラジオ波を用いることで、静脈壁のコラーゲン繊維をターゲットとして均一に焼灼することができ、それにより周囲組織がダメージを受けることが少なく、静脈壁のみを焼灼することができます。

静脈壁をむらなく焼灼できる

焼灼温度を常に120℃に保つようにジェネレーター側で出力をコントロールするために、焼けすぎるといことが避けられ、静脈壁をよりばらつきなく均一に焼灼できます。

術後の痛み、内出血が少ない

【治療の実際】

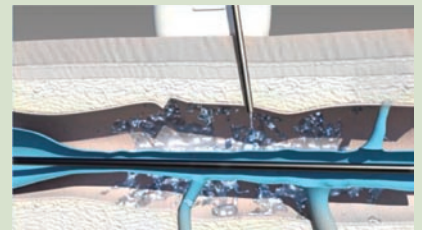
①カテーテル挿入

深部静脈との合流部近くまでカテーテルを挿入します



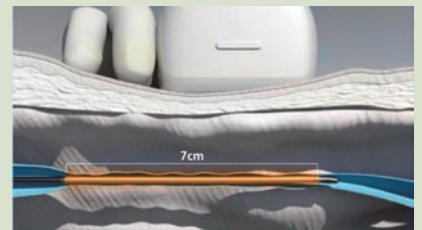
② TLA 麻酔

焼灼、切除する静脈周囲に低濃度の局所麻酔剤を注入します



③セグメンタルアブレーション

用手的圧迫を行いながら7cmずつ焼灼を行います



④瘤切除

2mmの小切開で瘤切除を行います



【おわりに】

- 手術時間は1肢あたり、40～60分です。
- 術後安静は3時間で歩行可能となり、水分摂取、経口摂取可能となります。術後翌日に創部の包交後、独歩退院となります。
- 10月31日現在まで72肢の下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術を施行しましたが、重大な合併症も認めず、また治療に対して痛みが少ないため、患者さんは非常に満足されています。

今後とも血管外科医として閉塞性動脈硬化症や動脈瘤、深部静脈血栓症などの血管関連疾患も診てまいります。今後とも宜しくお願いいたします。

私は今年3月に定年退職を迎えましたが、此の機会にたまたまお話を頂いた海上保安大学の航海練習船の船医として世界一周をしてきました。呉にある海上保安大学の棧橋から4月28日に船出して、101日間の航海でした。乗員はこの春大学を卒業した実習生と乗組員合わせて77名、寄港地はホノルル、コスタリカのプンタレナス、ニューヨーク、マルセイユ、モナコ、シンガポールの6港で、途中もちろんパナマ運河とスエズ運河を通りました。



こじまの航海長と萩原医務官（右）

出港早々、四国の南端から太平洋に出る際には黒潮の激流に揉まれ、特別の荒天というわけではないのに、立っているのが困難なくらいの揺れで早速船酔いに苦しむ人が続出しました。その黒潮の洗う中、伊豆鳥島のはるか南の絶海の孤島「孀婦岩」（そうふいわ）は荒波の中に高さ100mの蠟燭のような姿でポツンと立っており、見る者の心を動かさずにはいません。太平洋を

ひたすら東に進み、5月5日に日付変更線に到りました。翌日も再び5月5日を繰り返す事というのは、船旅ならではの不思議な経験でした。乗員一同が後甲板に集まって、夕日を浴びながらの「日付変更線通過祭」が催され、ビールと演芸大会で盛り上がりました。

ホノルルではダイヤモンドヘッドをめぐる東海岸の海岸線の美しさ、コスタリカの熱帯の自然と人々の人懐こさ、NYではメトロポリタン美術館の収蔵品の圧倒的な迫力が印象的でした。マルセイユから列車で訪れたアルルのローマ遺跡、モナコではアルベール2世大公を船上レセプションに迎えたことなどが思い出に残っています。6つの港の各々を詳述することは紙面の都合でとてもできません。航海の記録を「周航日記」にまとめてみましたので興味のある方はご一読ください。（直接本人にご連絡ください）

101日間の航海は佐世保共済病院に勤務した30年間の疲れをすっかり癒すにはとても足りなかったようでしたが、又新たな気持ちで仕事に取り組む契機にはなったようです。今後も週4日勤務で再雇用していただいておりますので、よろしくお願いたします。



Brooklyn橋からの景観

地域医療
連携室より
Part.
30

中村内科

〒859-3213 佐世保市権常寺町1491-7

TEL 0956-38-1166

院長 中村 貴先生



早岐で開業している中村内科、中村貴です。

平成3年に久留米大学を卒業後、長崎大学で消化器科を専攻して関連病院で修練、平成17年に帰郷継承しました。現在スタッフ20名と父（内科）、妻（呼吸器科）と日々診療に邁進しております。

父が当地に開業してから、今秋で35年となりました。大過なく医業を継続できているのも地域の方々や基幹病院、近隣の先生方のご支援のおかげと感謝しております。

大学・関連病院勤務時は消化器科専門医として診療に携わっておりましたので、現在も内視鏡診療にこだわり大事にしております。スタッフとともに技術の向上に取り組み、拡大内視鏡などを一生懸命行っています。消化器疾患では外科の井原先生や消化器科の宿輪先生、放射線科の野々下先生にはいつも丁寧なご診療を頂き有難うございます。

私たち地域の開業医は、専門領域の診療だけではなく『家庭医』として幅広く診療すること、プライマリケアや緊急初期対応、継続的診療における利便性が求められています。その点にお



中村院長（前列中央）とスタッフの皆さん

いても佐世保共済病院の各診療科の手厚いサポートは地域住民や我々にとって大変心強いことです。またその際、地域連携室にはいつも細やかな情報連絡を頂き助かっております。

佐世保共済病院は、県北医療圏における連携の要であり我々にとって大切なパートナーです。これからも貴院との連携を通じてさらに研鑽を積み、地域医療の向上に努めていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

年末年始の管理当直体制

	12/29 (火)	12/30 (水)	12/31 (木)	1/1 (金)	1/2 (土)	1/3 (月)
日直 8:30～17:30	内科	二次輪番日 内科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	内科	泌尿器科
当直 17:30～翌8:30	整形外科	整形外科	外科	整形外科	放射線科	整形外科

編集後記

1年前の平成26年12月3日種子島から「はやぶさ2」が打ち上げられました。平成30年に小惑星「リュウグウ」に到着し、平成32年末頃採取したサンプルを持って帰還予定です。医療も日々粘り強く継続すべきものです。「はやぶさ2」同様当院も地域医療に貢献すべく努力を重ねたいと思っております。

編集委員 原 敬一



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 27 年 12 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考 (専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患
	医員	野中 康德	●						●				腎臓疾患
	〃	内海 沙織					●				●		腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●	●					循環器疾患
	医員	片伯部幸子	●					●					循環器疾患
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	原口 剛									●		循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	水田 佑一					●						呼吸器疾患
	〃	藤内 研									●		呼吸器疾患
糖尿病内科	非常勤医	牟田 芳美					▲	▲					▲は第2・4週のみ診察を行います
消化器内科	副院長	井口 東郎					●	■					膵がん・胆道がん ■は紹介患者のみの受付になります
	部長	河野 健次			●		●						肝臓疾患
	内視鏡センター長	宿輪 三郎	●								●		消化器内科疾患
	部長	丸山 祐二	●						●				消化器内科疾患・消化器がん
消化器センター					●						●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療
					富崎						井原		
外科	診療部長	井原 司					●	●					消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	三笠 圭太	●		●						●		血管外科・一般外科
	医員	高木 克明			●						●		消化器外科・肝胆膵臓外科・一般外科
	〃	南 泰山	●						●				一般外科
	〃	中根 浩幸					●				●		一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二							●				呼吸器外科 11時までに受付を行って下さい	
乳腺外来			●	●	●	●	●	●	●	●	●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい (要予約)
			高木	中根	原田	原田	南						
小児科	診療部長	岡 尚記	●	●	●	●	●	●	●	●	●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	部長	合田 裕治	●	●	●	●	●	●	●	●	●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息
	乳児健診				●								火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
	慢性外来						●						水曜 午後2時から診察開始
喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始	
整形外科	院長補佐	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	水城 安尋		●	●						●		上肢の外科 (肩肘手)、足部外科 (外反母趾等)、スポーツ障害
	医員	佐々木 大	●		●		●	●			●		膝股関節疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍
	〃	内村 大輝		●				●	●		●		上肢の外科 (肩肘手)、スポーツ障害
	〃	上田 幸輝	●		●						●		膝・股関節疾患
	〃	伊東 孝浩	●					●	●		●		整形外科一般
	〃	溝口 孝		●	●		●	●			●		整形外科一般
〃	田中 宏毅	●	●	●								整形外科一般	
泌尿器科	副院長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染、男性不妊 (江口)
	部長	江口 二郎	※	●				●					※の第2・4週 (江口) 第1・3・5週 (中村) が診察を行います
	〃	中村 貴生	※	●			●						
産婦人科	院長	木寺 義郎	●								●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●	■	●	●	●	●			●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎		●	●			■			●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	〃	松隈 敬太						●					
	医員	友延 寛	●■	●				●			■		
〃	柿添 絵里	●				■				●			
眼科	医長	原 潤	●	●	※	●	※	●	●	●	●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来 (要連絡)												
耳鼻咽喉科	部長	田浦 政彦	●	●	●	●	●	●	●	●	●		頭頸部腫瘍、嚥下障害、耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
	医長	加藤 明子	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	椿 史裕											
麻酔科	部長	深野 拓	●	●							●		月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医長	木本 文子		●		●		●					月～金午後は手術麻酔
	医員	佐々木誉詩子											
	非常勤医	別府 幸岐											
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、顎関節症、口腔腫瘍
	医員	藤永 貴大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	菌性感染症など
健診センター	部長	佐藤 浩信											※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155
	医長	原 敬一											